

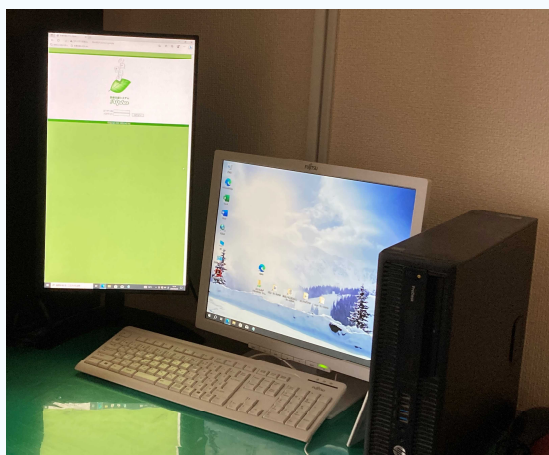
うえなえ

Vol.423 2023.8

電子カルテ

導入から1年

2022年9月、植苗病院に電子カルテが導入され、もうすぐ1年となります。今号では電子カルテ導入による効果とこれからの取り組みを報告いたします。



植苗病院では半年の準備期間を経て2022年9月に電子カルテを導入しました。導入前はサーバを使い一部データの共有は行っていましたが、オーダリングシステムなどはなかったため電子カルテ導入はとて大きな事業となりました。そのため期待よりも環境の変化に対する不安が大きい状態となっており、導入当初はネガティブな意見も多くみられましたが、現在はそれらも少なくなってきました。今号では本稼働からもうすぐ1年の今、電子カルテ導入による効果やこれからの取り組みについて報告したいと思います。

カルテの電子化により変わった部分は様々ありますが、大きく変わった点は下記の3点になります。

● 時間の効率がよくなった

紙カルテでは所在がわからなくなった場合や、カルテが手元にくるまで確認・処理できないなど、すぐに作業できない事が多々ありましたが、電子カルテではこのカルテを待つ時間が無くなり、業務の効率を上げる事が可能になりました。また、入力の負荷を軽減する機能によりカルテ記載や処方、注射などの指示も紙カルテの時より簡単にすることが出来る様になりました。

● 情報の共有がしやすくなった

他院からの情報や検査結果などが電子カルテへ取り込むことができるため、必要時に情報の確認が可能となっただけではなく、入力や編集、削除したものはすぐに反映されるため、常に最新の情報を得る事ができるようになりました。複数の異なる場所から同時に閲覧できるのも電子カルテならではの利点です。

● カルテの判読性が向上した

医師ごとにカルテ記載の特徴を読み解く必要がなくなったため、看護や事務では医師の指示を正確に把握できるようになり、間違いや事故を未然に防ぐことが可能になりました。会計やレセプトの操作やチェックもスムーズに行うことができ、紙カルテの時よりは会計でお待たせする時間が減ったと思います。

電子カルテが導入されてからを振り返ってみると、大小さまざまな問題が発生し、その都度対策が行われ業務を見直してきました。私たちは導入時だけでなく、どの様に活用し業務を効率化させていくかを考えながら、将来の業務を見据えて評価と改善を繰り返し続けていかなくてはなりません。その結果、今までできなかった事が出来る様になり、それがより良い医療へ繋がっていくのだと思います。システムになれるまでに時間がかかるため苦手意識を持ちやすい、部署によって操作方法にばらつきが生じローカルルールが得意、業務を電子カルテに合わせなくてはならないケースがある等、電子カルテの運用にはデメリットもあります。ですが、自分たちにとってより働きやすい職場にしていけるためにも定期的に運用を見直し、職員全体で意見を出しあいながら、システムづくりをしていかなくてはならないと思っています。

ウトナイ病院通信

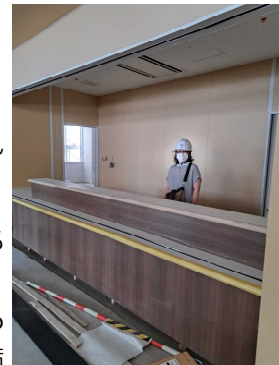
第8回 病院見学その2

第2回ウトナイ病院見学が、7月26日～8月4日までの間に行われました。建築中の見学は今回が最後になるそうです。

前回の見学ではコンクリート打ちっぱなしで殺風景だった内装も少しずつ出来上がって来ています。広々とした外来受付（画像右）



ついに覆いが！



受付カウンター

のか気になっていた覆いも無くなりウトナイ病院のロゴも確認できるようになりました。植苗病院は横に広く2階建てですが、縦に長いウトナイ病院（画像左）は5階建てになるため大分見上げる感じになります。恐らく5階の住人になる予定の私は、体と地球のために階段を使うつもりなので、足、特に膝に優しい中履きの購入を検討中です。一週間でエレベーターとならないように、靴が無駄にならないように、頑張り続ける事ができるのか。結果は編集後記辺りでお知らせしますね。



「新たな戦前」が一時ネットなどで話題になった、昨年末の「徹子の部屋」で、来年はどんな年になると問われタモリ氏が答えたそう。それ以前にも保守を自認する半藤利一氏や多くの言論人が危惧を指摘している。そのような戦前回帰の動きは敗戦直後からあり、「日本の民主化・非軍事化」に逆行するとされた政治・経済・社会の動きで「逆コース」といわれていた。1952年のGHQの占領下でほぼなし終えているが、その潮流は今に至っているといっ

ても過言ではない。

特に潮目の変化が顕著になったのは、2012年第2安倍政権時に、北朝鮮による核兵器開発とミサイル問題、中国による台湾侵攻の脅威論で、2015年安保関連法を強行成立させ、2017年戦前の治安維持法といえる「共謀罪」を強行成立させてきた。もうひとつの潮目は、ロシアによるウクライナ侵攻である。ロシアに問題なしとは言わないが、ここで問題となるのは「外交」をもって解消すべき問題を軍事的対決に舵を切っていることだ。ウクライナ領クルミヤ半島のロシアの強制併合に対して、当時の安倍総理はプーチン氏と「ウラジミールとシンゾウ」というほどの信頼関係にあると豪語していたようだ。その時クルミヤについて何も論じていないとしたら北方領土問題の解決もない。世間を知らない愚か者と言われようと「外交」による平和を求めたい。

(O.Y)



精神科医 田中 尚朗

第5回 貨物専用鉄道

みなさんこんにちは。連載の第2回で、現代のアメリカ人は列車での長距離移動をあまりしないと書きました。例えば、19世紀にはカナダのモントリオールから米国東海岸まで列車が乗り入れていました。しかし今、東海岸のボストンからモントリオールまで行くなら、飛行機が車になるでしょう。

では、19世紀に構築された壮大な鉄道網はすべて放置、廃棄されたのでしょうか。実はそうではないのです。もちろん多くの路線は廃止され、総延長では往時と比較にならないと思われます。しかし全米をカバーしカナダにもつながる鉄道網というものは、今も健在なのです。ただし残念なことに、その路線の多くには旅客列車が走っていません。貨物専用線となっているのです。敷設された当初は客貨双方に利用されていたものの、時代とともに人は汽車に乗らなくなり、周辺の鉱山、工場、農産物輸送などの貨物需要のみが残ったのです。平坦な地形が多く、100両を越える数の貨車をけん引できたりするのでコストに見合うのでしょうか。このような鉄道の運用は、オンデマンド的な側面があり、週2回しか走っていなかったり、不定期な運行だったりします。他方、1回もしくは数回に限り、イベント的に旅客列車が走ることもあるようです。もっとも、そんな状況でどのような保線が行われているかはちょっと心配ですが。

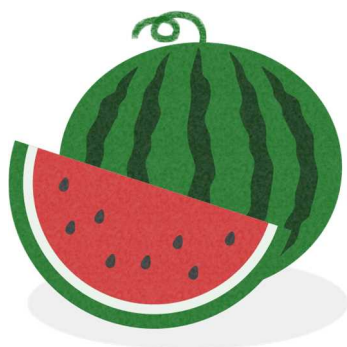
往年の米国映画では、低速の貨物列車に飛び乗って移動というシーンがよくありました。「北国の帝王」(1973)という映画では、鬼車掌とタダ乗りの名人の闘いが繰り広げられます。リー・マーヴィンとアーネスト・ボーグナインがこんなことで争うのかと、まあ私の世代にはネタにしかありませんでした。

北海道でも苫小牧港開発株式会社線や王子軽便鉄道など、過去にあった路線が思い浮かびますね。日本の場合は、移動距離がそれほど長くないためか、トラック輸送の方が効率が良いのかもしれません。



コラムに関連した写真は下記URLからご覧ください。

<https://blog.goo.ne.jp/samurai-project>



ひきしまる

塩のかおりの

港にて

★たつゆき

朝食の

たまかけご飯

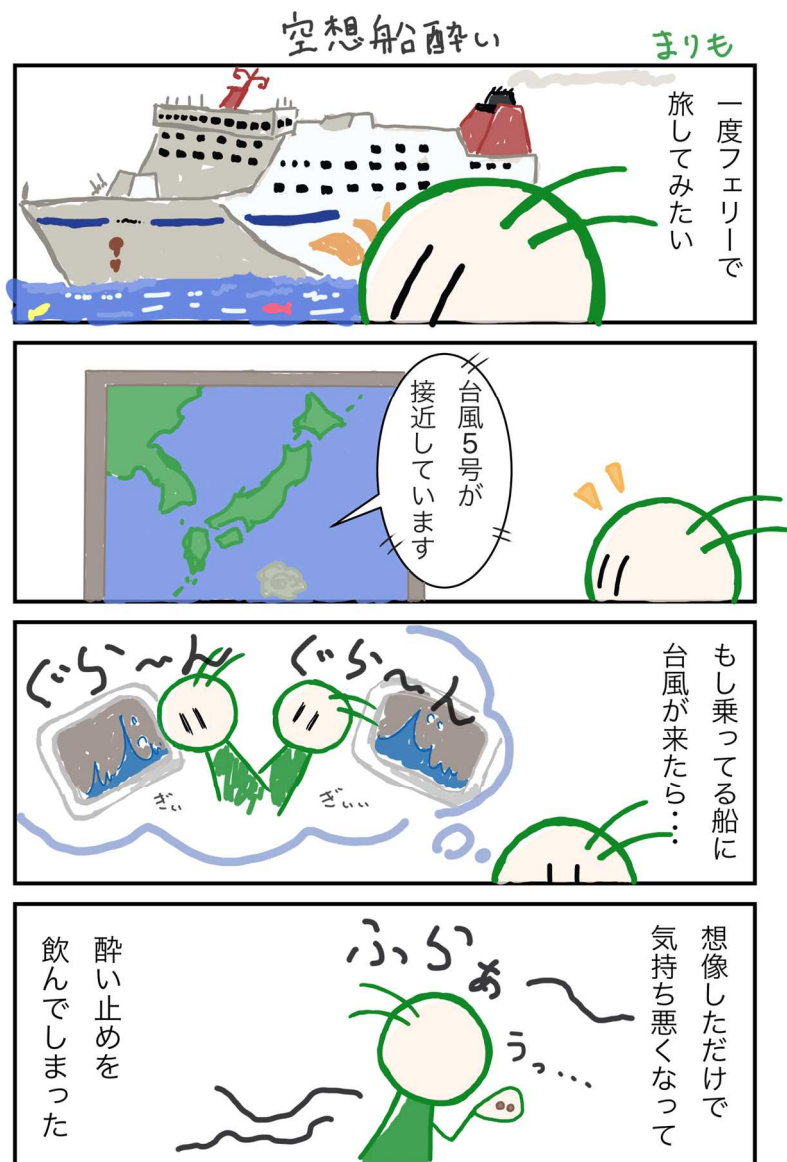
贅沢に

★克彦

お知らせ

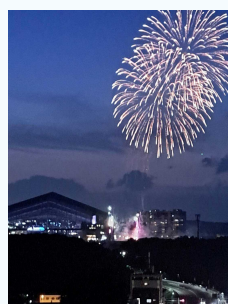
◆ 入院中の方へ手続きのお願い ◆

入院時食事代標準負担額の減額認定及び入院医療費の限度額適用認定、国民健康保険証、後期高齢者医療被保険者証、ひとり親・障害受給者証の有効期限が7月31日までとなっておりますので、**8月中**に各市町村などの窓口で手続きをしていただき、新しい認定証を植苗病院事務に提出をお願いいたします。ご不明な点がございましたら各市町村などの窓口又は植苗病院医事課までお問い合わせ下さい。



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



球場と花火

〈後記〉

先日エスコンフィールドで花火大会があり、我家のベランダからも見る事が出来ました。自宅でビールを飲みながらの花火鑑賞は最高！来年以降も是非続けていただきたいものです。

(H)